

三田市乙原地区の蝶

吉田 豊

三田市は、神戸、西宮、大阪と、大都市近郊のまちで、阪神間のベッドタウンとしての住宅開発が、急激に進み、最近では、三田市の行政を軽視した宅地開発で自然破壊されつつある。そこで筆者は三田市でも、比較的自然的に残っている乙原地区に於て、蝶の採集調査を行った所、次のような種類が得られたので、リストにして発表しておく。採集品はすべて9—VI—1981。

(※印は目撃種)

(○印は採集品)

アゲハチョウ科

※モンキアゲハ、※クロアゲハ、※アオスジアゲハ

セセリチョウ科

※ホソバセセリ、○ダイミョウセセリ、※アオバセセリ

ヒカゲチョウ科

※クロヒカゲ、○ヒメウラナミジャノメ、○サトキマダラヒカゲ

タテハチョウ科

○スミナガシ、○コムラサキ、○イチモンジチョウ、
○アサマイチモンジ、○コムスジ、○ミスジチョウ、
○ミドリヒョウモン、○サカハチチョウ

シロチョウ科

○ス
○スジグロシロチョウ、○キチョウ

シジミチョウ科

○トラフシジミ、○ルリシジミ

赤穂郡産オオムラサキ 「スギタニ型」の記録

唐士 洋一

後翅肛角部の赤斑が、消失するスギタニ型といわれている個体を得たので報告する。

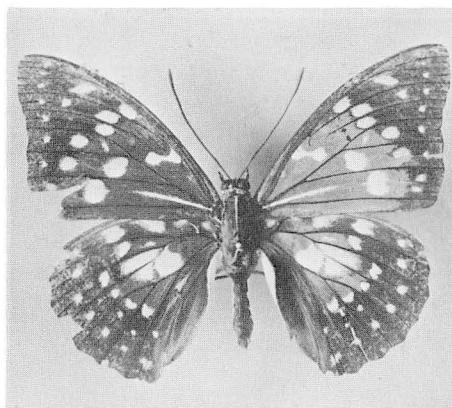
写真① 赤穂郡上郡町野桑 1♂ 19—VII—1981

② 赤穂郡上郡町野桑 1♀ 21—VI—1981

なお②については越冬幼虫を採集、飼育し羽化させた個体である。

参考文献

川副昭人・若林守男(1976) 原色日本蝶類図鑑
保育社、大阪



写真〈採集データ〉 赤穂郡上郡町野桑
19—VII—1981 唐士洋一

(S.18 : Yōichi Morokoshi 相生市)